

第5学年 学びのカテゴリー「暮らし」

これまで、学級の仲間、野菜、花や動物など、子供たちは目の前の人や生き物を対象として探究してきた。第4学年では、飼育動物や動物に関わる仕事をする人について探究することを通して生命の尊さを学んだ。そんな児童だからこそ、身近な動物から、身近な人へと対象が変わったとしても、生命の尊さをもって、相手の生き方に寄り添うことができ、暮らしている方の人生の尊さに共感できると考えた。そこで第5学年では、学びのカテゴリーを「暮らし」とすることで、自分や他者の「暮らし」を通して見えてきた問題に対して切実感をもち、その解決を通して「幸せな暮らしとは何か」「よりよい暮らしとは何か」を考え、自分はどうすべきかを探究していく。

第1単元では、自分や学校の仲間、学校生活における暮らしを支えてくれる人を目に向け、その暮らしをよりよくするために、〇〇さん笑顔いっぱいプロジェクトやスマイルプロジェクトを行ってきた。1組では、「自分たちのよりよい暮らしを創りたい」という願いのもとプロジェクトを計画した。その中で、幸せの捉えは人によって異なることに気づき、相手のことを深く知ることや相手のことを思って活動することが大切であることが分かった。また、自分たちが本気になって活動することで対象の暮らしをよりよくすることができることを子供たちは実感した。第2単元では、高齢者を対象とし、「高齢者の幸せな暮らし」を自分たちの手で生み出すことができるよう探究を進めていく。3組は、スマイルプロジェクトを通して、全校の仲間が笑顔になる瞬間について調査したことで、人によって笑顔になる瞬間が違うということを知り、より多くの仲間が笑顔になる方法を考えプロジェクトを進めた。第2単元では、対象を地域に住む外国人と繰り返し関わることで、直面する諸問題を自分事と捉えて、「外国人の幸せな暮らしを創造する」ことについて探究を進めていく。

窪田 泰三
岩田 奈々
伊藤 暢宏

5年1組

年間指導計画

「学びのカテゴリー」：暮らし（全105時間）

第5学年の目標	(1) 問題解決力に関わって 人と関わり暮らしを見つめる中で問いをもったり、問題を発見したりして自分や他者の暮らしがよりよくなるために自分にできることを考え、解決に向けて行動することができるようにする。											
	(2) 関係構築力に関わって 自分や他者の暮らしをよりよくするために、他者と自らつながり、他者の考えを肯定的に聞いたり自分の考えを筋道立てて伝えたりしながら、ジレンマやエラーに対して互いに納得できる考えを生み出すことができるようにする。											
	(3) 貢献する人間性に関わって 自分や他者の暮らしをよりよくなりたいという態度を養う。											
カテゴリー設定の理由	これまでに、学級の仲間、野菜、花や動物など子供たちの目の前にある実体的な人や生き物を対象として探究してきた。特に第4学年では、飼育動物や動物に関わる仕事をする人たちについて探究することを通して、生きているものの生命の尊さを学んだ。そんな児童だからこそ、身近な動物から、身近な人へと対象が変わったとしても、生命の尊さをもって、相手の生き方に寄り添うことができ、暮らしをよりよくする方への人生の尊さに共感できると考えた。そこで第5学年では、学びのカテゴリーを「暮らし」とすることで、自分や他者の「暮らし」を通して見えてきた問題に対して切実感をもつとともに、問題の解決を通して「幸せな暮らしとは何か」「暮らしをよりよくするとは何か」を考え、自分はどうすべきかを探究していく。											
学びの基盤となる道徳的諸価値	自主、自律、自由と責任・希望と勇気、克己と強い意志・親切、思いやり・真理の探究・感謝・友情、信頼・相互理解、寛容・規則の尊重 公正、公平、社会主義・社会参画、公共の精神・家族愛、家庭生活の充実・よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊さ・よりよく生きる喜び											
学びを構成する要素	生活 学校 家族 仲間 幸せ 心 環境 自然 生き物 安全 健康 生命 人 ふれあい 喜び 笑顔 感謝 自分らしさ 個性 夢 決意 不便 便利											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名(時数)	自分たちの暮らしを見つめる(50時間)						他者の暮らしを見つめる(55時間)					
主な学習活動	○これまでの探究学習を振り返る活動を通して、5年生では何と関わっていくのか、何について考えていくのかを話し合う。 ○自分たちに目を向け、願いを共有し、よりよい(楽しい○幸せな)暮らしとは何かを考える。 ○どうしたら学校の暮らしがよりよくなるのかという視点で学校内を探索し、気付いたことを交流する。 ○学校の仲間のよりよい(楽しい○幸せな)暮らしとは何か自分なりに考えをまとめ、よりよい暮らしの実現に向けた願いをもつ。 ○自分たちの暮らしを支えて下さる方(学校内外)の願いや仕事を知ると共に、その人たちに共通していることを考える。 ○学校で暮らしに継続的に関わり、自分事暮らしにしていく。 ○学校の暮らしの中で問題を発見する。 ○学校の暮らしをよりよくしたいと考え、問いを立てて、プロジェクトを立ち上げる。 ○自分たちでプロジェクトの活動計画を立て、活動内容を吟味する。 ○プロジェクトを通して考えたこと、感じたことをまとめ、他者とながら実行していく。 ○プロジェクトを通して学校の暮らしの変化を見つめながら、暮らしについてより知りたいという興味○関心をもつ。						○学校の外に出て、自分とは異なる暮らしをしている人と出会う。(フィールドワーク) ○人の暮らしを支える立場の人と出会う。 ○自分たちのまわりには、様々な人の暮らしがあることに気付く。 ○自分と異なる暮らしをしている人と継続的に関わる。(フィールドワーク) ○出会った人の暮らしについて、暮らしの中にある本当の幸せについて考える。(自分事になっていく) ○対象の方の暮らしの問題解決を目指して課題を設定し、プロジェクトを立ち上げる。 ○対象の方や、その方と関わりのある社会とつながり、情報を収集する中で、どんな活動をするべきか計画を立てる。 ○目的や意図に応じた活動(発信)を行う。 ○これまでの活動を振り返り、暮らしを見つめる中で、自分自身が学んできたことをまとめる。 ○交流を通して、仲間が学んできたことを知り、「暮らし」について、共通して大切なものを見いだす。 ○個やグループで探究してきたことをまとめ、これからの自分の暮らしについてどう生きるか、自分なりの考えをまとめ、学年の仲間に発表する。					
想定されるエラー(■)ジレンマ(●)【道徳的諸価値】	■どうすることが学校の仲間にとっての幸せな暮らしが実現したといえるのかわからない。 ■プロジェクトを実行したが、本当にみんなの暮らしをよりよくすることに繋がったのか。 ●学校の暮らしを支えて下さる人の思いを知った時、～するべきだと思うけれど、学校生活をしている自分としては○○○することの方がいいと思うし、どうしたらいいのだろうか。 【親切、思いやり・相互理解、寛容・よりよく生きる喜びなど】						■自分のしていることが、相手の暮らしをよりよくすることにつながっているのかわからない。 ■相手の○○さんにとって、今自分が行っていることが本当に必要なことなのかわからない。 ●自分は～することが大切だと思って誰かのために活動しているのだけれど、○○さんにとってそれは本当に「～暮らし」と言えるのだろうか。 【真理の探究・社会参画・家族愛、家庭生活の充実・集団生活の充実・よりよく生きる喜びなど】					
人材活用施設	・保護者 ・人の暮らしを支える立場の人(学校で働く警備員、学校の養護教諭、学校の調理員、PTAの方) ・岐阜大学の先生						・自分と異なる暮らしをしている人					
教科等との関連	・国語：きいて、きいて、きいてみよう-インタビューをするとき-(話す・聞く) どちらを選びますか-互いの立場を明確にして、話し合おう-(話す・聞く) ・社会：国土の気候の特色と暮らしを支える食料生産、わたしたちの生活と工業生産 ・算数：整数と小数、2つの量の変わり方、小数のかけ算・わり算、体積、合同な図形、整数の性質、分数のたし算とひき算、平均 ・理科：メダカのたんじょう、植物の実や、種子の働き方 ・家庭科：私の生活、大発見! ・外国語：Hello, friends!, Happy birthday!, Can you play dodgeball?						・国語：統計資料の読み方-資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう-(書く) 「子ども未来科」で何をやる-事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう-(話す・聞く) ・社会：情報化した社会と産業の発展、わたしたちの生活と環境 ・算数：割合、箱グラフと円グラフ、 ・理科：もの測り方、ふりこの性質、電磁石の性質、人のたんじょう ・家庭科：気持ちがあがる家族の時間 ・外国語：Welcome to Japan!					

5年1組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
単元名 他者の暮らしを見つめる (55)		①自分が関わる人の暮らしをよりよくしたいという願いを基に、問題を発見することができるようにする。 ②問題の解決に向けて、高齢者の暮らしをよりよくするための方法を自分で考え、行動することができるようにする。	①高齢者と自らつながり、他者の考えを肯定的に聞いたり、自分の考えを筋道立てて伝えたりすることができるようにする。 ②高齢者や仲間の思いを大切にしながら、活動を進めることができるようにする。	①高齢者や自分の生き方を見つめ直し、暮らしをよりよくするために行動しようとする態度を養う。
活動の計画	○学校の外に出て、自分と異なる暮らしをしている人や人の暮らしを支える立場の人と出会う。(問題①) ○自分たちと異なる暮らしをしている人たちと継続的に関わる。(問題①) (10)	○高齢者の幸せな暮らしを創り出すためにはどうするとよいのかを考え、自分の意見を仲間に伝える。(関係①) ○高齢者の幸せな暮らしを創り出すためのプロジェクトを計画する。(問題②) ○仲間の意見に寄り添い、お互いに納得のいくプロジェクトを計画する。(関係②) ○実際にプロジェクトを実行し、その後、関わる高齢者の様子や生の声を基に振り返りを行う。(関係①) (12)	○プロジェクトの振り返りを基に、次のプロジェクトに生かす。(問題①) ○自分が関わりをもっている〇〇さんのことをもっと詳しく知ろうとする。(関係②) ○「自分と関わりのある〇〇さんの幸せな暮らし」のために、1人1人に寄り添ってプロジェクトを考え、実行する。(貢献①) ○プロジェクトが、高齢者の人たちの幸せな暮らしにつながっているのかを見直し、改善する。(問題②) (23)	○これまでの活動を通して、自分の中にある「暮らしとは」についてまとめる。(貢献①) ○探究をしてどんな自分になることができたのか、今後自分の生き方にどう生かしていくのかを明確にし、仲間に伝える。(貢献①) (10)
加除修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちに高齢者の人の幸せな暮らしをつくることができないかな。 関わり続けることで、高齢者の〇〇さんのことが少し分かるようになってきた気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者と関わることでいろいろと分かってきたことがあるから、何か一緒にできることはないかな。 暮らしをよりよくするために「やるべきこと」「やったほうが良いこと」に分類して、プロジェクトの内容を決めていこう。 もっと一人一人に寄り添うことが大事な。 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを見直したり、関わる高齢者の人の様子やリアルな声を聞いたりしたことを基にして、もう一度計画してみよう。 自分が関わる高齢者の人のことを今以上に知って、その人が本当にしてほしい事、望んでいることを考えることが大事だ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの手で暮らしをつくることは大変だけれど、やりがいもあるな。 これからの生活の中で、相手の事をよく知ること、相手の立場に立って考えることを大切にしていこう。
実際の姿				
● ジレンマ ■ エラー	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ イベントを開催したけれど、いつも関わっている〇〇さんはその間ずっと楽しそうにしているわけではなかった。もっと他の方法を考えないといけない。 ● 自分たちの思いと仲間の思いのズレに葛藤する。 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 〇〇さんのことを知って、プロジェクトの計画を立てようと思うけれど、自分一人で考えるだけではどうしたらよいかわからない。 ● 自分たちの思いと高齢者の思いのズレに葛藤する。 </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 〇〇さんの暮らしを幸せにするために考えたことだけど、〇〇さんの望んでいることは少し違ったみたいだ。 </div>				

5年1組 本時案 (5年1組教室)

目標

高齢者の人たちに対して、自分たちにできることは何かを仲間と議論する活動を通して、自分と異なる仲間の意見に共感したり、関わらせてもらっている高齢者の〇〇さんの立場に立って考えることを基に、自分の考えを広げたり深めたりしながらプロジェクトについて内容を考えることができる。
(問題解決力)

本時 (24/55)

活動内容 (〇教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)		〇教師の手立てと見届け						
<p>1 高齢者施設にいる〇〇さんの幸せな暮らしを創り出すために自分たちにできることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>〇〇さんの幸せのために自分たちに何ができるのか。</p> </div> <p>〇高齢者の方の幸せを創り出すためにどんなことができそうですか。(前時に考えた意見を全体で共有する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方々に喜んでもらえるようなプロジェクトがしたいです。 ・私たちが一緒になって楽しく活動できるようなことをしたいです。 ・〇〇さんは～することが好きだと言っていたから、1人1人に合ったことを行いたいです。 ・〇〇さんは思うように活動することができないかもしれないから、動きを少なくしたものの方がいいと思います。 		<p>〇自分の考えや、自分とは異なる考えをもった仲間の意見を再確認するために、これまで話をしてきた内容について交流する場を位置付ける。</p> <p>〇それぞれの立場の意見を共有するために、前時のワークシートや児童の発言を基に、それぞれの立場の意見をもった児童を意図的に指名する。</p> <p>〇「～さんの意見で自分が納得できるところはどこですか。」と問うことで、仲間の意見に共感できるようにする。</p> <p>〇高齢者の方の幸せな暮らしを考え、その人に寄り添って発言することができるようにするため、またその方にとってよりよい生活を生み出していくプロジェクトにできるようにするために、活動を決めていく際に再度願いや自分が関わっている高齢者の方と話した内容を確認する場を位置付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>「〇〇さんの幸せな暮らしを創り出したい」という願いを基に、自分と異なる立場の意見に共感し、その上で仲間に考えを伝えたり、高齢者の〇〇さんの立場に立って考えたりしながらプロジェクトの内容を決めようとしている。</p> <p style="text-align: right;">(問題解決力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の様子やワークシートの記述から見届ける。 </div>						
<p>2 自分の立場を明らかにする。</p> <p>※いろいろな立場の人と交流する中で自分の考えを整理して、立場を明らかにする。</p> <p>※自ら他者とつながったり、自分の席でワークシートに考えをまとめたりして、自分の立場で話ができるようにする。</p>								
<p>3 自分の立場を基に、全体交流をする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>みんなで1つのプロジェクトがしたい</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>1人1人に合ったプロジェクトがしたい</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>プロジェクトをするとかではなくてその人に寄り添って話をしたり聞いたりしたい</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・学校祭や宿泊研修など、みんなで活動したからとてもいい思い出になりました。だから、1人よりもみんなが何かをやる方が盛り上がるし、楽しくなると思うからみんなで大きなプロジェクトを考えたいです。 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんと話をする中で、趣味や好きなことがわかりました。だから、〇〇さんが本当に好きなことをやってみることが幸せな暮らしをつくることにつながると思います。 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・何かプロジェクトを企画したり、みんなで何かをやったりするのはなくて、話し相手になって一人一人に寄り添うことが大切だと思います。 </td> </tr> </table>			<p>みんなで1つのプロジェクトがしたい</p>	<p>1人1人に合ったプロジェクトがしたい</p>	<p>プロジェクトをするとかではなくてその人に寄り添って話をしたり聞いたりしたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭や宿泊研修など、みんなで活動したからとてもいい思い出になりました。だから、1人よりもみんなが何かをやる方が盛り上がるし、楽しくなると思うからみんなで大きなプロジェクトを考えたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんと話をする中で、趣味や好きなことがわかりました。だから、〇〇さんが本当に好きなことをやってみることが幸せな暮らしをつくることにつながると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何かプロジェクトを企画したり、みんなで何かをやったりするのはなくて、話し相手になって一人一人に寄り添うことが大切だと思います。
<p>みんなで1つのプロジェクトがしたい</p>	<p>1人1人に合ったプロジェクトがしたい</p>		<p>プロジェクトをするとかではなくてその人に寄り添って話をしたり聞いたりしたい</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭や宿泊研修など、みんなで活動したからとてもいい思い出になりました。だから、1人よりもみんなが何かをやる方が盛り上がるし、楽しくなると思うからみんなで大きなプロジェクトを考えたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんと話をする中で、趣味や好きなことがわかりました。だから、〇〇さんが本当に好きなことをやってみることが幸せな暮らしをつくることにつながると思います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・何かプロジェクトを企画したり、みんなで何かをやったりするのはなくて、話し相手になって一人一人に寄り添うことが大切だと思います。 					
<p>4 3つの立場から1つを決め、内容を考えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ関わらせてもらっている人に寄り添って活動することは大切にしていきたいです。 ・活動が激しいものではなく、一緒に歌を歌ったり、手を繋いで一緒にできるようなことをしたりしていきたいです。 ・昔の遊びを自分たちが覚えて一緒にできるとよいと思います。 								
<p>5 議論して学んだことや次の活動で自分が行うことをワークシートに書く。(振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで1つのプロジェクトをすることになったけれど、「〇〇さんの幸せを創り出したい」という願いのところはみんな同じだから、自分が関わらせてもらっている〇〇さんが楽しめるようなプロジェクトにしていきたいです。 								

5年3組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：暮らし (全105時間)

第5学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		人と関わり暮らしを見つめる中で問いをもったり、問題を発見したりして自分や他者の暮らしがよりよくなるために自分にできることを考え、解決に向けて行動することができるようにする。									
	(2) 関係構築力に関わって		自分や他者の暮らしをよりよくなるために、他者と自らつながり、他者の考えを肯定的に聞いたり自分の考えを筋道を立てて伝えたりしながら、ジレンマやエラーに対して互いに納得できる考えを生み出すことができるようにする。									
	(3) 貢献する人間性に関わって		自分や他者の暮らしをよりよくなりたいという態度を養う。									
カテゴリー設定の理由	これまでの、学級の仲間、野菜、花や動物など子供たちの目の前にある具体的な人や生き物を対象として探究してきた。特に第4学年では、飼育動物や動物に関わる仕事をする人たちについて探究することを通して、生きているものの命の尊さを学んだ。そんな児童だからこそ、身近な動物から、身近な人へと対象が変わったとしても、生命の尊さをもって、相手の生き方に寄り添うことができ、暮らしをしている方の人生の尊さを共感できると考えた。そこで第5学年では、学びのカテゴリーを「暮らし」とすることで、自分や他者の「暮らし」を通して見えてきた問題に対して切実感をもつとともに、問題の解決を通して「幸せな暮らしとは何か」「暮らしをよりよくなるには何か」を考え、自分はどうすべきかを探究していく。											
学びの基盤となる道徳的諸価値	自主、自律、自由と責任・希望と勇気、克己と強い意志・親切、思いやり・真理の探究・感謝・友情、信頼・相互理解、寛容・規則の尊重 公正、公平、社会主義・社会参画、公共の精神・家族愛、家庭生活の充実・よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊さ・よりよく生きる喜び											
学びを構成する要素	生活 学校 家族 仲間 幸せ 心 環境 自然 生き物 安全 健康 生命 人 ふれあい 喜び 笑顔 感謝 自分らしさ 個性 夢 決意 不便 便利											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名(時数)	幸せな暮らしとは…～自分となかまの暮らしを見つめ創造する～ (52時間)							幸せな暮らしとは…～外国人の暮らしを見つめ創造する～ (53時間)				
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○「暮らし」とは何かをイメージし、現段階での自分にとっての暮らしの幸せとは何かを考える。 ○自分の幸せと仲間の幸せには似ているところあれば違うところもあつていく。 ○附属小中学校の仲間の「暮らし」をよりよくなりたいという願いをもつ。 ○附属小中学校の仲間の「暮らし」をよりよくなりたいという願いをもとに、自己課題を設定する。 ○自己課題をもとに、附属小中学校の仲間の「暮らし」をよりよくなるために自分たちに何が出来るか話し合う。 ○自分たちで附属小中学校の仲間を笑顔にする「第1回スマイルプロジェクト」の活動計画を立て、実行する。 ○「第1回スマイルプロジェクト」を振り返り、成果と課題を明らかにする。 ○「第1回スマイルプロジェクト」の振り返りをもとに、もっと多くの仲間を笑顔にするためには自分たちに何が出来るかを考える。 ○「第2回スマイルプロジェクト」の活動計画を立て、実行する。 ○「第2回スマイルプロジェクト」を振り返り、「暮らしをよりよくなるとは…」についてまとめる。 ○学校の中だけでなく、地域に目を向けると様々な暮らしがあることを学ぶ。 							<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの身の回りにある「暮らし」を知るために地域に出て、外国人と出会う。 ○外国人と自分の「暮らし」を比べる。 ○Anjanaさんにとって幸せな「暮らし」とは何かを考える。 ○Anjanaさんの「暮らし」をよりよくなるために、プロジェクト①を計画する。 ○Anjanaさんを幸せにするためのプロジェクト①を実行する。 ○プロジェクト①についてフィードバックをもらう。 ○プロジェクト①を整理分析する。 ○Anjanaさんとの関わりを繰り返し、Anjanaさんの「暮らし」をもっと幸せにするために自分にできることはないか考える。 ○Anjanaさんをもっと笑顔にするためにプロジェクト②を計画する。 ○プロジェクト②を実行する。 ○これまでの探究を振り返り、整理してまとめる。 ○「幸せな暮らしを共に創る」ことを通して学んだことを学年の仲間や岐阜市国際交流協会などに発表したいと願いをもつ。 ○これまでの学習について発表する。 				
想定されるエラー(■) ジレンマ(●) 【道徳的諸価値】	<ul style="list-style-type: none"> ■どうすることが附属小中学校の仲間を笑顔にすることにつながるのかわからない。 ■「スマイルプロジェクト」で笑顔にならなかった人たちのために、自分には何が出来るのかわからない。 ●附属小中学校のみんなが笑顔になってほしいけど、みんなを笑顔にすることは本当に出来るのだろうか。 【親切、思いやり・友情、信頼・相互理解、寛容・家族愛、家庭生活の充実・よりよく生きる喜びなど】 							<ul style="list-style-type: none"> ■自分のしていることが、相手の「暮らし」を支えることにどうしてつながっているのだろうか。 ●外国人のAnjanaさんにとっての暮らしに対する考え(価値観)は、本当に支えるべきものなのだろうか。 ■自分もみんなも共通する幸せな暮らしとは何か分からない。 【克己と強い意志・真理の探究・自主、自律・社会参画・集団生活の充実・よりよく生きる喜びなど】 				
人材活用施設	・附属小中学校の仲間							・外国人 ・岐阜市国際交流協会				
教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国語：きいて、きいて、きいてみよう-インタビューをするとき-(話す・聞く) ・国語：どちらを選びますか-互いの立場を明確にして、話し合おう-(話す・聞く) ・社会：国土の気候の特色と暮らしを支える食料生産、わたしたちの生活と工業生産 ・算数：整数と小数、2つの量の変わり方、小数のかけ算・わり算、体積、合同な図形、整数の性質、分数のたし算と引き算、平均 ・理科：メダカのたんじょう、植物の実や、種子の働き ・家庭科：私の生活、大発見! ・外国語：Hello, friends! Happy birthday!, Can you play dodgeball! 							<ul style="list-style-type: none"> ・国語：統計資料の読み方-資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう-(書く) ・国語：「子ども未来科」で何を学ぶ-事実と感想、意見を区別して、説得力のある提案をしよう-(話す・聞く) ・社会：情報化した社会と産業の発展、わたしたちの生活と環境 ・算数：割合、帯グラフと円グラフ ・理科：もの溶け方、ふりこ、性質、電磁石の性質、人のたんじょう ・家庭科：気持ちにつながる家族の時間 ・外国語：Welcome to Japan! 				

5年3組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
単元名 幸せな暮らしとは… 外国人の暮らしを見つめ創造する (53)		①外国人の暮らしをよりよくしたいという願いをもとに問題を発見できるようにする。 ②問題解決に向けて自分で考え、行動することができるようにする。	①外国人の暮らしをよりよくするために、他者の思いや考えを肯定的に聞いたり、自分の考えを筋道立てて伝えたりできるようにする。 ②互いに納得できる考えを生み出すことができるようにする。	①外国人の暮らしをよりよくするために行動しようとする態度を養う。
活動の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの身の回りにある「暮らし」を知るために地域に出て、外国人と出会う。(問題①) ○外国人と自分の「暮らし」を比べる。(問題①) ○Anjana さんにとって幸せな「暮らし」とは何かを考える。(問題②) (10) 	<ul style="list-style-type: none"> ○Anjana さんの「暮らし」をよりよくするために、プロジェクト①を計画する。(関係②) ○Anjana さんを幸せにするためのプロジェクト①を実行する。(貢献①) ○プロジェクト①についてフィードバックをもらう。(関係①) ○プロジェクト①を整理分析する。(問題①) (16) 	<ul style="list-style-type: none"> ○Anjana さんとの関わりを繰り返し、Anjana さんの「暮らし」をもっと幸せにするために自分にできることはないか考える。(問題②) ○Anjana さんをもっと笑顔にするためにプロジェクト②を計画する。(関係②) ○プロジェクト②を実行する。(貢献①) (14) 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの探究を振り返り、整理してまとめる。(問題①) ○「幸せな暮らしを共に創る」ことを通して学んだことを学年の仲間に発表したいと願いをもつ。(問題①) ○これまでの学習について発表する。(関係②) (13)
加除修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出て「暮らし」について調査してみよう。 ・外国人の暮らしの手助けが僕たちにできないだろうか。 ・Anjana さんともっと関わらないと「暮らし」が分からない。もっと話を聞いてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば自分たちの手で Anjana さんの笑顔を創り出すことができるかな。 ・Anjana さんの笑顔が見られたということは、自分たちの手で、Anjana さんの幸せな「暮らし」を創ることができたのかな。 ・どうすれば Anjana さんはもっと喜んでくれるか考えたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何度も関りをもつことで Anjana さんの笑顔が増えているんじゃないかな。 ・特別なことをするんじゃなくて、一緒に時間を過ごすだけでも幸せを感じるんじゃないかな。 ・Anjana さんが笑顔になると自分も笑顔になってうれしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、幸せな「暮らし」を探究する中で、附属小中学校の仲間も外国人も相手の幸せを考えるときは、相手に寄り添うことが大切なんだと分かった。 ・自分が学んできたことをもっとたくさんの人に知ってもらいたいな。
実際の姿				
● ジレンマ ■ エラー	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">●Anjana さんにとっての暮らしに対する考え（価値観）は本当に自分が支えるべきものなのだろうかと葛藤する。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">■自分のしていることは、Anjana さんの暮らしを幸せにすることにつながっているのか分からない。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">■自分もみんなも共通する幸せな暮らしが何か分からない。</div>			

5年3組 本時案 (5年3組教室)

目標

「自分たちとの関わりの中で Anjana さんを笑顔にするためにはどうすればよいか」について対話する活動を通して、自分と異なる意見や立場を理解して聞いたり、自分の考えや意見を伝えたりしながら、Anjana さんを笑顔にしたいという願いを基に、納得できる考えを生み出すことができる。
(問題解決力)

本時 (12/53)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け						
<p>1 これまでの歩みを振り返り、共有する。 ○願いを実現するために、Anjana さんについてわかったことを共有しましょう。 ・ Anjana さんはカレー屋さんをしながら日本での暮らしを楽しんでいる。 ・ 日本では買いたいものがすぐに買いに行けたり、バスが時間通りに来たりするなど、便利だと言っていた。 ・ Anjana さんも、私たちと同じで家族や人との関わりの中で幸せを感じ笑顔になっている。 ・ 漢字を読んだり書いたりすることは難しいと言っていた。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分たちとの関わりの中で Anjana さんを笑顔にする方法を考えよう。</p> </div> <p>○Anjana さんを笑顔にするために何ができるか考えましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>【お店】 ・ Anjana さんはお店をしているから、そのお店にたくさんお客さんが来ると笑顔になるんじゃないかな。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>【言葉】 ・ 日本語が難しいと言っていた。日本語が分かれば、日本人との関りも増えて笑顔になるんじゃないかな。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>【つながり】 ・ Anjana さんのことをもっと知ったり、僕たちのことをもっと知ってもらったりして関ることで Anjana さんは笑顔になるんじゃないかな。</p> </td> </tr> </table> <p>3 仲間の意見を聞きながら、自分の考えを再構築し、納得解を生み出していく。 ○仲間の意見を聞いてどう思ったかな。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>【お店】 ・ たしかにお店にたくさんお客さんが来るようになると、Anjana さんはうれしいと思うけれど、私たちにできることはあるのかな。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>【言葉】 ・ 日本語が難しいと言っていたけれど、Anjana さんは上手に日本語を話していたし、困っているようには見えなかった。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>【つながり】 ・ たくさん質問をして、Anjana さんのことは知れたけど、僕たちのことは伝えられていない。もっと Anjana さんと話したいな。</p> </td> </tr> </table> <p>4 本時の学びの振り返りをワークシートに書く。 ・ 私ははじめ、Anjana さんはカレー屋さんをしているから、お店に来るお客さんが増えれば Anjana さんも笑顔になると思っていた。でも、Anjana さんと対話しているときの顔を思い浮かべたり、仲間の話を聞いたりして、もっと Anjana さんのことを知って Anjana さんを笑顔にするために自分に何ができるか考えたい。</p>	<p>【お店】 ・ Anjana さんはお店をしているから、そのお店にたくさんお客さんが来ると笑顔になるんじゃないかな。</p>	<p>【言葉】 ・ 日本語が難しいと言っていた。日本語が分かれば、日本人との関りも増えて笑顔になるんじゃないかな。</p>	<p>【つながり】 ・ Anjana さんのことをもっと知ったり、僕たちのことをもっと知ってもらったりして関ることで Anjana さんは笑顔になるんじゃないかな。</p>	<p>【お店】 ・ たしかにお店にたくさんお客さんが来るようになると、Anjana さんはうれしいと思うけれど、私たちにできることはあるのかな。</p>	<p>【言葉】 ・ 日本語が難しいと言っていたけれど、Anjana さんは上手に日本語を話していたし、困っているようには見えなかった。</p>	<p>【つながり】 ・ たくさん質問をして、Anjana さんのことは知れたけど、僕たちのことは伝えられていない。もっと Anjana さんと話したいな。</p>	<p>○これまでの Anjana さんとの関りの中で得た情報を共有する場を位置付け、Anjana さんが日本で暮らす中で、どんなことを感じ、願っているかを確認する。</p> <p>○話し合いの論点が明確になるように、Anjana さんが笑顔になる方法についてどのような意見が出たのかそれぞれの立場が分かるように板書する。</p> <p>○本質に迫った活動内容を考えることができるようにする。 ・ 考えた活動内容が実現可能かどうか。実現するためにはどうすればよいかを問うことで経験や体験を基にして考えるきっかけをつくる。 ・ 自分の願いや思いだけでなく、Anjana さんの思いに合ったものなのかを問うことで、願いを実現するために最適なプロジェクトを決め出していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか 「Anjana さんを笑顔にする」ために、自分の意見を伝えたり仲間の意見を聞いたりしながら自分なりの納得解を見いだしている。 (問題解決力) ・ 発言の様子やワークシートの記述から見届け</p> </div>
<p>【お店】 ・ Anjana さんはお店をしているから、そのお店にたくさんお客さんが来ると笑顔になるんじゃないかな。</p>	<p>【言葉】 ・ 日本語が難しいと言っていた。日本語が分かれば、日本人との関りも増えて笑顔になるんじゃないかな。</p>	<p>【つながり】 ・ Anjana さんのことをもっと知ったり、僕たちのことをもっと知ってもらったりして関ることで Anjana さんは笑顔になるんじゃないかな。</p>					
<p>【お店】 ・ たしかにお店にたくさんお客さんが来るようになると、Anjana さんはうれしいと思うけれど、私たちにできることはあるのかな。</p>	<p>【言葉】 ・ 日本語が難しいと言っていたけれど、Anjana さんは上手に日本語を話していたし、困っているようには見えなかった。</p>	<p>【つながり】 ・ たくさん質問をして、Anjana さんのことは知れたけど、僕たちのことは伝えられていない。もっと Anjana さんと話したいな。</p>					